

# 令和3年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立貴志南学校

作成日

令和 4年 3月 11日

## 1 教育目標

一人ひとりの子供の主体性・創造性を養い、心身ともに健康で、豊かな人間性や社会性のある子供の育成をめざす

## 2 学校自己評価についてのご意見

	開かれた学校	たくましく健やかな体の育成	大きく豊かな心	確かな学力
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の様子がよく伝わった【HP閲覧数1年間に10000回】</li> <li>・地域学習を学年に応じて1回以上行う【教師100%】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝ごはんを食べた【児童95%】（生活調べ）</li> <li>・積極的に運動を行うよう計画し、実践する【教師95%】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたしは学校が楽しい」【児童95%】</li> <li>・「命の大切さや社会の決まりについて教えてもらっている」【児童95%】</li> <li>※評価アンケート</li> <li>・QUの学校生活満足群【85%】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県学習到達度調査等の無答率の改善【県平均】</li> <li>・「学校での勉強がわかる」【評価アンケート児童85%】</li> </ul>
重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページはあまり見られていないように思えないので、もっと見てもらえるように工夫する必要がある。</li> <li>・地域について学ぶことは大切だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の確立のために、学校と家庭が連携し、意識して取り組むことが大切。</li> <li>・バスケットや陸上に取り組んでもらいたいが、感染対策と運動とのバランスが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校が楽しい」と思えることが一番だと思うので、これからも目指してもらいたい。</li> <li>・家庭でも、子供との会話を増やしていくことが大切。</li> <li>・心の教育は学校だけでなく、地域や家庭との連携が重要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何事にもあきらめてしまわず、粘り強く取り組む姿勢は大切だと思う。</li> <li>・勉強が楽しいと思える教育環境が大切。</li> <li>・小学校で、学習の基礎基本をしっかり身に付けさせてほしい。</li> </ul>
取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭りや整備活動など、できる範囲で育友会の行事を行うことができたのでよかった。子どもセンターも2学期は活動でき、たくさんの子供に参加してもらったのでよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練は、地震・津波、地震・火災などに取り組んでいた。</li> <li>・マスクの着用や検温など、体調管理にしっかりと取り組めた。</li> <li>・今の状況の中で運動を積極的に進めるのは難しいが工夫してできていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限が多い中で子供たちにもたくさんのストレスがあると思う。学校の中では楽しく過ごせるような取組をお願いしたい。</li> <li>・インクルーシブ教育や人権教育の充実に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい本を入れたり、手に取りやすいところに本を置いたりして、学校が読書に力を入れていることが伝わる。</li> <li>・図書ボランティアもできる範囲で活動できていた。</li> </ul>
取組の適切さの検証結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も授業参観や懇談がほとんど実施できなかったため、次年度はもっと実施できればよいと思う。</li> <li>・地域人材や地域教材をもっと活用する機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「元気南っ子貯金」は、自分の生活を振り返るよい機会になっている。家庭でも前向きに取り組みたい。</li> <li>・アレルギーに対して丁寧に対応できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートでは「誰にでもあいさつができる」に対し「思わない」「あまり思わない」が3分の1となっている。学校・家庭・地域が協力して、あいさつができるように取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートでは「わたしは毎日の勉強がわかる」において80%が「わかる」と答えているが、残り20%は「わからない」ということである。毎日の授業を大切にして、子供たちにとってよくわかる授業を行ってほしい。</li> </ul>
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はコロナ禍で、思うように活動ができない状況であったが、できる内容や方法を工夫し、実施してもらいたい。</li> <li>・可能な限り、感染症への対策をとり、行事などで学校の様子を知る機会を作ってもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭では体力づくりが難しい場面もあるため、学校で子供たちが興味を持てる取組を実施してもらいたい。</li> <li>・バスケットや陸上など、難しい面もあると思うが、可能な範囲で実施できるようになるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア学年での活動など、もう少し取り入れていけたらよい。</li> <li>・道徳や人権の授業にしっかりと取り組んでもらいたい、仲の良い学級や学校づくりに取り組んでもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちの意欲を高める授業を目指して取り組んでほしい。</li> <li>・子供たちが何事にも粘り強く取り組めるような手立てをお願いしたい。</li> </ul>

## 3 その他のご意見

- ・コロナや断水など、今年も子供たちにとって大変なことがあったが、子供たちは生き生きとした笑顔で元気があり、学校が楽しいのだなと感じられる。
- ・あいさつは、こちらからすると返してくれる感じである。知らない人や見たことのない人には自分からなかなかあいさつできないが、これが今の世の中かなと思う部分もある。
- ・今年度は、外部の方による出前授業が実施できていたのでよかった。
- ・学級通信は、学級の様子や取組を知る手段となり、子供との会話のきっかけとなり、とても役立った。